

モニタリングサイト 1000 ガンカモ類調査

調査データの概要と利用上の注意点 (2023年1月版)

目次

I. 利用上の注意点	2
II. データセットの概要	3
III. データの種類とその概要	4
1. 最大個体数クロス表.xlsx	4
2. 最大個体数リスト表.xlsx	4
3. ハクチョウ成鳥幼鳥比.xlsx	4
IV. データの内容と説明	5
V. 参考情報	6

I. 利用上の注意点

- 本文書にはモニタリングサイト 1000 ガンカモ類調査で得られた調査データ（以下「データ」という）の概要と利用上の注意点が書かれています。データをご利用される際には、必ず「本文書」、ガンカモ類調査の「調査説明書」及び「データの使用方法 (<https://www.biodic.go.jp/copyright/index.html>)」をお読み下さい。これらに書かれている注意点に同意できない場合は、データを利用することはできません。
- ガンカモ類調査は調査説明書に従って実施されています。ただし、有効なモニタリングを実施するために、調査方法等が検討されており、その検討結果を受けて、調査説明書の記載内容が変更されている場合があります。データのご利用に当たっては、最新版の調査説明書をご参照されるようお願いいたします。
- 本事業に関しては、環境省生物多様性センターのモニタリングサイト 1000 ウェブサイト (<https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>) をご参照ください。
- 論文やプレゼンテーション等でデータを利用される際には、下記の例を参考にデータの出典を明記して下さい。

「xxx のデータについては、環境省モニタリングサイト 1000 プロジェクトによる (GAN01.zip、<https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index.html>、よりダウンロード)。」

“Data for XXX was provided by the Ministry of the Environment Monitoring Sites 1000 Project (GAN01.zip, downloaded from <https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index.html>)”.

- データに関するご質問は、環境省自然環境局生物多様性センター（巻末に連絡先を掲載）までご連絡ください。
- データは、予告なく随時、変更・修正されます。変更した場合は、ファイルのバージョン番号が変わりますのでご注意ください。
- 本文書は、予告なく変更する場合があります。

II. データセットの概要

- 2004年より全国におけるモニタリングを実施しています。
- 調査時期は秋期（9月～11月）、冬期（12月～翌年1月）、春期（2月～5月）に設定しています。
- 「20●●/■年」は「20●●年9月から20■年5月までの調査期間」を示します。
例) 2019/20年：2019年9月から2020年5月までの調査期間
- ガンカモ類調査の調査サイト数は83か所（コアサイト81か所+広域サイト2か所）です（2021/22年調査時点）。
- 本データセットには、2004/05年から2021/22年の調査結果のデータが格納されています。
- 最大個体数とは、各調査時期にカウントされた個体数のうち、最も多くカウントされた個体数のことを示します。
- 各調査時期に複数回の調査が行われた場合は、種別に最大個体数が記録されています（例えば、オナガガモは○月○日の個体数、マガモは△月△日の個体数ということもあります）。
- 調査方法の詳細は、ガンカモ類調査説明書
(<https://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html>) をご参照ください。

III. データの種類とその概要

最大個体数クロス表と最大個体数リスト表は、基本的に格納されているデータは同じで表示形式が異なるだけですが、最大個体数リスト表には、最大個体数が記録された年月日が追加されています。

1. 最大個体数クロス表.xlsx

- 毎年各調査時期の各サイトにおいてカウントされた各種の最大個体数のデータが格納されています。
- 各年の各調査時期のデータが、1つのワークシートにクロス表で表示されています（例、2004年秋期、2004年冬期、…）。

2. 最大個体数リスト表.xlsx

- 毎年各調査時期の各サイトにおいてカウントされた各種の最大個体数のデータが格納されています。
- すべてのデータが、1つのワークシートに1行1レコード形式で表示されています。

3. ハクチョウ成鳥幼鳥比.xlsx

- 個体数調査と同じ時期に、ハクチョウ類の成鳥と幼鳥それぞれの確認数をカウントしています。全数をカウントできない場合は、カウント可能なサイズの群をカウントしています。

IV. データの内容と説明

1. 最大個体数クロス表.xlsxに格納されているデータ本体の説明

データ構造

- ・ 列見出しに種名（A列に和名、B列に英名、C列に学名）、行見出しにサイト名等（1行目にサイトコード、2行目に日本語サイト、3行目に英語サイト、4行目に緯度、5行目に経度）を配置したクロス表です。
- ・ 見出し（種名とサイト名）に対する集計結果（最大個体数）が集計フィールドに表示されています。

2. 最大個体数リスト表.xlsxに格納されているデータ本体の説明

データ構造

- ・ Survey Year：調査年は9月から翌年5月までの期間です。
- ・ Season：調査時期は秋期（9月－11月）、冬期（12月と翌年1月）、春期（2月－5月）です。
- ・ Site Code：サイトのコード番号
- ・ Japanese Site Name：サイト名（日本語）
- ・ Alphabetical Site Name：サイト名（英語）
- ・ Latitude：サイトの緯度（世界測地系 WGS84）
- ・ Longitude：サイトの経度（世界測地系 WGS84）
- ・ Year：最大個体数が記録された年
- ・ Month：最大個体数が記録された月
- ・ Day：最大個体数が記録された日
- ・ Japanese Name：和名
- ・ English Name：英名
- ・ Scientific Name：学名
- ・ Max Count：最大個体数

3. ハクチョウ成鳥幼鳥比.xlsx に格納されているデータ本体の説明

データ構造

- Site Code : サイトのコード番号
- Japanese Site Name : サイト名 (日本語)
- Date : 調査日
- Japanese Name : 和名
- Total Count : 総確認数
- Juvenile : 幼鳥の確認数
- Adult : 成鳥の確認数

V. 参考情報

モニタリングサイト 1000 ガンカモ類調査説明書

<https://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html>

モニタリングサイト 1000 ウェブサイト

<https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>

生物多様性センター ウェブサイト利用規約

<https://www.biodic.go.jp/copyright/index.html>

作成 2023 年 1 月

編集・発行

環境省自然環境局生物多様性センター

担当：保全科

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1

Tel : 0555-72-6033

E-mail : biodic_webmaster@env.go.jp

URL: <http://www.biodic.go.jp/>

事務局

特定非営利活動法人 バードリサーチ

〒183-0034 東京都府中市住吉町 1-29-9

Tel/Fax : 042-401-8661

URL: <http://www.bird-research.jp>